

第3節 平成28年度障がい者の生活ニーズ実態調査について

1. 調査概要

○調査の目的

「第4次大阪府障がい者計画」の計画期間の約半分が経過し、社会状況等も変化する中で、現在の障がい者の生活の実態やニーズを適切に把握し、後期計画の策定に反映するとともに、今後の障がい者施策の着実な展開に活用するために実施。

○調査の方法

調査対象者

府内在住の身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳の所持者および自立支援医療（精神通院）受給者、発達障がい者、難病患者合わせて8,000人。

内訳

身体障がい者	3,800人	知的障がい者	2,000人
精神障がい者	1,400人	難病患者	400人
発達障がい者	400人		

調査方法

各障がい者手帳所有者については、台帳から調査対象者を無作為抽出し、郵送により調査票を対象者に配布。自立支援医療（精神通院）受給者及び難病患者、発達障がい者については、郵送又は精神科病院や団体を通じて調査票を配布。

回答は、郵送（無記名）により回収。

○調査時期

平成28年10月から11月

○回収率（回収数）

44.5%（3,562人）

内訳

身体障がい者	45.7%（1,736人）	知的障がい者	42.6%（851人）
精神障がい者	40.1%（562人）	難病患者	48.3%（193人）
発達障がい者	55.0%（220人）		